

2025汎美展 作品募集要項

会場 国立新美術館 展示室1A (1階)
会期 2025年3月5日(水)～3月17日(月) 休館日=3月11日(火)
開場時間 午前10時～午後6時 (最終日は午後3時まで) ※但しいずれも最終入場は終了時間の30分前まで

(イベント)

作品の前で語り合う会 3月 4日(火) 午後3:00～4:00 / 展示作業終了後に出品者のみの非公開で開催
ギャラリートーク 3月 9日(日) 午後2:00～3:30 / 汎美展会場にて観覧者を含め公開で開催
懇親会 3月 9日(日) 午後6:30～ (会費5,500円程を予定)
講評会 3月16日(日) 午後2:00～3:30 / 堀浩哉 多摩美大名誉教授による講評(出品作のうち希望者対象) / 汎美展会場

「2025汎美展」を上記概要で開催致します。本展示と小品コーナーを分けて展示を行います。作品に応じた各出品規定・注意事項をご確認の上、所定用紙にてお申し込み下さい。(一般の方は本展示・小品コーナーの重複出品は両方の出品料をお支払い頂きます。) 一般の方は汎美会員による推薦が必要です。初めての方は、下記事務局に「出品希望」の旨ご連絡下さい。

申込期限 2025年1月27日(月) までに 出品申込書を下記に、郵送またはEメール添付にて送付する事

申込先 [郵送] 〒376-0001 群馬県桐生市菱町4-2194-3 三井雅彦方 汎美術協会受付係
[E-mail] mitsui321@hb.tp1.jp

出品料 本展示(点数にかかわらず) 一人 20,000 円 (一般出品者) ※但し搬入日に30歳未満の者は半額とする
小品コーナー(2点まで) 一人 16,000 円 (一般出品者) ※但し搬入日に30歳未満の者は半額とする

2025年2月21日(金) までに 下記いずれかの口座に振り込む事

[ゆうちょ銀行 〇一八(ゼロイチハチ)(普通) 口座番号 9599839 汎美術協会]

[みずほ銀行 多摩センター支店 (普通) 口座番号 1268836 汎美術協会]

作品搬入 2025年3月2日(日) 午前10時～午後1時 国立新美術館 地下1階作品整理室A

美術館バックヤードに入る際、後日送付する入館者証を持参の事(展示・搬出時も同様)。

美術館は宅配等での直接送付を受け付けていない。出品者ご自身かその代理搬入が出来ない場合は、事前に汎美取扱実績の有る下記の搬入代行業者を利用する事(出品者の責任において下記以外の代行業者の利用も可)。

(代行業者) フランドル画材 〒359-0045 埼玉県所沢市美原町1-2921-4

・① 遠方 = 自前で作品梱包しフランドル画材宛に宅配送付すれば、搬入出を6,000円で代行。搬出後は着払宅配返送代行。

・② 都内/埼玉南部 = 梱包不要で作品集荷/配達までの搬入出を10,000円で代行。(①②とも下記の受付係に事前連絡)

汎美フランドル受付係 → 岩田洋子会員 [Tel.] 090-8102-9698 [e-mail] botan2111951@gmail.com

(代行業者) キューアートワークス 〒241-0806 横浜市旭区下川井町236-1

・送付/集配ともに対応可。エリア/料金は下記サイトを参照し、直接電話にて「汎美秋季展出品」を伝えて確認の事。

[サイト] <https://www.qartworks.com/p2/exhibition/hanbi.html> [Tel.] 045-951-9000 [Fax.] 045-954-1801

作品展示 2025年3月4日(火) 午前10時～午後3時

展示係や業者と協力のもと出品者自らが展示作業を行う。予め「作品裏貼り付け票」に展示図を明記し、本人が作業出来ない場合も第三者が展示出来るよう配慮する。(いずれも申込書の所定欄にチェック)

作品搬出 2025年3月17日(月) 午後3時～午後5時

個人搬出および代行者は、国立新美術館 地下1階作品整理室Aにて作品受取チェックを受ける事。時間内に搬出されなかった作品は下記で有料保管となり費用は出品者が負担する。それ以外の業者返送は自身で手配をする事。

川端商会 東京都葛飾区堀切 2-16-2 (本店・倉庫 [Tel.] 03-3691-3200)

汎美術協会 事務局
〒114-0016 東京都北区上中里1-31-11 いなずみ くみこ 方
[TEL] 080-1379-8373 [公式サイト] hanbi.jp/contact/

お問い合わせ
及び連絡先

本展示 出品規定

- ▶表現技法は自由。但し未発表のアート作品で、第三者の著作権・肖像権、その他一切の権利を侵害しないものに限る。
- ▶サイズの**上限**は、間隔含む作品合計 平面= 幅**5.5m**×高さ**4.8m**×厚**0.6m** 以内。立体= 床面**3.5m**×**3.5m**×高さ**4.8m** 以内。
- ▶サイズの**下限は無し**。(但し「小品コーナー」については下記参照)。
- ▶インストール・立体作品等は、出品申込書に概要等を詳しく記入し、企図する展示方法が可能か確認する事。
- ▶パフォーマンスは以下の点に留意して出品申込書とともに企画書を提出する事。
 - ・パフォーマンス時間は15分(準備時間は含まず)以内 ・誘導員2名を配置 ・土/日は1日に1回までの実施
 - ・汎美の公式イベントと重ならないよう時間設定 ・横の作品の邪魔にならない実施方法を工夫
- ▶映像・音響機器等が必要な場合、機器と配線は出品者自身が用意する。インターネット回線も同様で、必要な場合は出品者自身で整備の事。
- ▶マーケットプレイスにリンクを貼るNFT作品は**不可**。
- ▶素材は他の作品及び館内に影響を及ぼさないものを使用し、事前にカビや虫を殺す処置(くん蒸)を施すなど十分に留意の事。
- ▶作品コンセプトに基づき、上記規定外の事項が生じる恐れのある場合は、事前に事務局に連絡し、相談の事。
- ▶その他、禁止・注意事項や展示方法等の詳細は、必ず下記「注意事項」を参照の事。

小品コーナー 出品規定

- ▶表現技法は自由。但し、壁面展示が可能な作品で、未発表のアート作品、第三者の著作権・肖像権、その他一切の権利を侵害しないものに限る。
- ▶サイズの**上限**は、間隔含む作品合計 平面= 幅**73cm**×高さ**73cm**(S20号相当) ×厚**10cm**以内。 **下限無し**。
- ▶**1~2点**。2点は上下二段掛けとする。 ▶額装は上限サイズ内または枠幅4cm(左右で8cm)を超えない事。

以下本展示の平面作品と同様

注意事項

搬入・展示にあたっての注意事項 (本展示/小品コーナー共通)

- ▶手持ち搬入の場合も西ゲートより入館者証(出品申込後、2月中旬送付)にて入場。美術館正面ゲートは使用出来ない。
- ▶美術館環境ならびに他作品に影響を与える匂い・昆虫・カビ等の原因となる土・植物・動物等の持ち込みは**不可**。
(影響を及ぼす危険が事前に判断された場合、または事態が生じた場合は、該当作品の変更ないし撤収となる場合がある。)
- ▶展示壁面に直接、釘・ガンタッカー・両面テープ等の傷や汚れの原因となるものは**使用不可**。額裏面に突出させる金具等の**使用不可**。
(壁面が傷つけられた場合は弁償となる)。展示方法は下記を参照の事。
- ▶展示に使用するフック・ワイヤー等の美術館備品を紛失した場合は**弁償**となる。
- ▶作品保護面にガラスの入った額は**使用出来ない**。
- ▶連絡先個人情報、作品販売・物販につながる表示は**出来ない**。QRコードの掲示も汎美公式サイトへのリンク以外は**不可**。
- ▶作品搬入・保管・展示・搬出に際しての不慮の事故・感染症罹患については、当会ならびに美術館では**一切責任を負えない**。

壁面作品の展示方法および注意事項 (本展示/小品コーナー共通)

国立新美術館は、壁面ピクチャーレール(高さ4.9mと2.3mの上下2段有り)から垂らす可動フック付のワイヤーで作品を吊って展示(200号以下の作品は下段レール使用)。作品裏に釘・ヒートン等が突出すると壁を傷つけるので、それを避けるために以下の方法を参照のこと。紐は必要な場合と不要の場合がある。(搬入時に担当者に相談し取り付けて可)

1. 作品裏面四周に木枠や裏打ち枠や仮縁などのしっかりした支持体がある場合

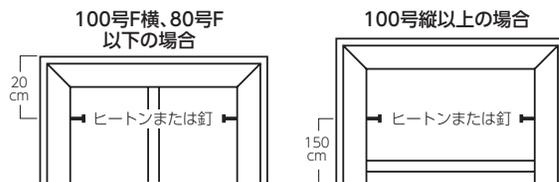
- 100号縦以上200号F以下の作品は額の底面から上150cmの位置に、
- 100号横・80号縦以下の作品は額の上面から20cmの位置に、
- 枠内側に厚みから出ないようヒートン又は釘を固定。紐は付けない。

2. 水彩縁などは両端をしっかりと固定した掛け紐を付ける場合

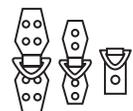
- 紐はたるみ無くし吊った場合に額の上に出ないこと。前傾しないよう紐の固定位置を上方にし、作品の厚みから突出し
- 展示壁面に接する金具や針金は使わない。絵画額用の折畳式になっているファームヒートンは使用可能。
- シリーズ又はインストールとして小サイズを多数展示する場合は、美術館備品の展示パネル(180×90cm)に架釘や画鋲などを用いて展示することが出来る。使用を希望する場合は、出品申込書の該当欄にパネルの必要枚数を記入する。

3. 半立体作品など、厚みがあって前傾が心配される作品の場合

- 作品上面の厚み中ほどにヒートンを取り付けるか下に支えとして美術館備品の台座を設置する。



ファームヒートン



パフォーマンス・音響その他電源使用作品等の注意事項 (本展示)

パフォーマンスは日時、電源使用作品は電力量(Wh)を予め美術館へ申請する必要があるため、出品申込書の該当欄に企画内容とともに明記。常時音響を伴う作品はヘッドホンを設置する等周辺に配慮する事。なお会期中の電源は、開館/閉館時に必ずON/OFFする必要があるため、自動化するか第三者に依頼出来る方法を考慮する事。

展示位置の抽選及び実際の展示について (本展示/小品コーナー共通)

- ▶展示位置抽選会を**2月2日(日)19:00~** リモート で実施(申込後にメールで案内)。抽選会に出席出来ない方の抽選は係が代行する。
- ▶実際の展示位置は、上記抽選会で決定した抽選番号に基づくが、状況により展示係が一定原則にて調整を行う。